

令和5年度第4回国民健康保険運営協議会議事録

日 時 令和6年2月16日(金) 13時30分～

場 所 土岐市役所 2階大会議室

出席者 ・被保険者代表 楓貴美子、林博義、小島三明、具原千絵
・保険医薬剤師代表 山口浩一、田伏英晶、鹿野貞文 大野良子
・公益代表 柴田知明、林恵美子、金子良司、田中正憲
・被用者保険代表 新川昌広
・事務局 市民生活部長 伊佐治良典 市民課長 西部浩司
市民課課長補佐 赤塚千恵 市民課総括主任主査 瀬瀬英貴
保健センター所長 高木緑

市民課長進行

会長挨拶 委員の皆さまには、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。今年は年明け早々に大変なことが起こりまして、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしたいと思いますし、被災地の復興が1日も早く成されるようご祈念申し上げる次第でございます。私ども社会福祉協議会という団体でございますが、被災地の社会福祉協議会の応援ということで県から要請がございまして、県内で順番に派遣して被災地の応援をしておるという状況です。社会福祉協議会が現地で何をしているかと申しますと、災害ボランティアセンターというものが立ち上がりまして、そこでボランティアを募って被災家屋の片づけ等をお手伝いしております。なかなか奥能登の方は道路

事情が悪かったりということもあり、珠洲市や輪島市の辺りは金沢で集合してそこから朝6時にバスで出発して現地に11時頃に到着し、午後3時頃まで活動してまたバスで金沢に戻るという状況だそうです。通常なら2時間ほどの移動が、やはり道路事情の影響で移動に片道5時間もかかってしまうという、これまでのあり方とは違うボランティア活動になっていると聞いております。

本日の議題は、令和6年度土岐市国民健康保険特別会計予算(案)と特定健康診査受診率の補助金への影響についての二点でございます。委員の皆さまには、いつも通り忌憚のないご意見をいただきますよう、お願い申し上げます。

会長議事進行

事務局 委員定数13名中13名の出席で会議成立を報告

議長 議事録署名委員の指名 柴田知明委員 金子良司委員

議事1 令和6年度土岐市国民健康保険特別会計予算(案)について

事務局 説明

委員 予算の算定に用いた数字について、被保険者数は年々減少し、6年度も減少を見込んでいる中で、特定健診の対象者数は令和6年度に増加しているのが疑問に思うのが1点と、同じく受診率ですが、6年度に非常に高い目標を掲げてみえますが、目標達成のために何か新しい取組みをされるということがあればぜひ教えて頂きたいと思いますがいかがでしょうか？

事務局 まず、受診対象者数の増について、予算上の対象者数の見込みは国庫補助金の実績報告に係る減少率を採用しており、毎年前年の数値に減少率をかけて算出しています。予算ということで、足りなくならないようにという部分もあり、実績ではなくこちらの数値で計上しています。

受診率につきましても、実績に比べ高い受診率となっておりますが、国が目指す受診率が60%ということで目標を高く設定させていただいており、何か新しい取組みを行うことで劇的に受診率が上がることを見込んでいる訳ではございません。

特定健診の結果から重症化を予防する事業を行っており、こちらは令和6年度から新規事業にも取り組んでまいります。受診率は、こうした事業にも大きく影響いたしますので、引き続き努力して参りたいと思います。

委員 予算をたてるにあたって、一人当たりの保険料額はどれくらいを想定されていますか？

事務局 先ほど基金を9千万円充当する見込みと申し上げましたが、9千万円を充当して10万4千円台を想定しています。これは、令和11年度の保険料統一を見据えた場合、あまり保険料を抑えてしまうと後半で急激な上昇となってしまうため、段階的に上げるため令和6年度については10万4千円台との見込みといたしました。

委員 それは、高いのか安いのか、今までの推移はどんな感じですか？

事務局 令和5年度に比べて5千円から6千円上がる想定です。令和6年度の県平均が12万8千円台の見込みで、県が算定する土岐市の標準保険料が

12万2千円でございます。12万2千円では急激に上がりすぎるため、基金を9千万円充当して、10万4千円台に抑えたいという考えです。

委 員 最終的に11年度に統一でしたね？そこに向けて徐々に上がっていくという理解でよろしいか？

事 務 局 県の平均も年々上がっておりますので、令和11年度の統一に向けて、年間の上昇率が一定の幅になるよう基金を充当して調整していく計画でございます。

議 長 では、令和6年度の土岐市国民健康保険特別会計予算(案)については以上といたします。

議 事 2 特定健康診査受診率の補助金への影響について

事務局 説明

委 員 国庫負担金については定額なので、成績のいいところと悪いところの差があまり出ないように感じましたが、保険者努力支援交付金については、如実に差が出ますね。

事 務 局 はい。70点の配点で受診率によって獲得点数にかなり差が出ますので。ただ、受診率だけではなく他にも多くの指標がありますので、土岐市としては他の指標で努力することで獲得点数は県平均を上回っております。
当然、受診率についても努力してまいります。

委 員 受診率だけみてめちゃくちゃ下がるという訳ではなくて、ただ今後伸びしろを考えると、特定健診の受診率とかがん検診等で得点が獲得出来れば交付額につながってくるということですね。

委 員 健(検)診が充実することで市民の健康にもつながっていけばいいと思いますので、がんばって受診率を上げていきましょう。

委 員 国庫負担金は変わらないですか？
むしろ保険者努力支援交付金については、たくさんの指標のひとつなので全体への影響は少ないと思いますが、国庫負担金の方こそ受診者数が直接影響するのでは？

委 員 確かに、やればやっただけダイレクトに反映するのは国庫負担金ですね。

議 長 はい。ありがとうございました。
事務局は、受診率を上げることで補助金を獲得して健全な事業運営に努めていただき、また、率が上がれば上がるほど市民の健康につながると思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。

委 員 特定健診の受診率のお話が出ましたが、残念ながら私は受診していません。何故かと言うと、年齢的にも生活習慣病等いろいろありまして、月に1度医療機関にかかっています。務めていた時は職場の集団健診という形で必ず健診を受けていましたが、今は国保なのでこういった機会しかないのかなと思います。ただ、特定の医療機関で受けてくださいという案内ですが、私が通っている医療機関は診察でも混んでいて1時間待つような状況のた

め、健診は遠慮してしまいます。診察の中で必要な検査は受けていますし、特定健診まで必要ないんじゃないかなという感覚があります。

なので、先ほどから受診率を上げましようと言われていますが、特定健診を受けなくても、診察の際にこれをやってくださいという政策的なものがあればいいと思いますがいかかでしょうか？

事務局 国民健康保険の被保険者が約9500人、そのうち特定健診受診対象者が約8000人で、約2800人が受診され残りの約5200人が未受診となっています。未受診の方の内訳をみると約2400人が医療機関を定期的に受診されていて、健診の必要が無いと判断されており、残りの2800人が状況が分からない方です。今おっしゃられたような定期的に受診されている人には、受診時に受けられた検査の結果をご提供いただきたいのです。情報提供事業として生活習慣病の受診歴のある方にはご案内を送付していますが、ご提供いただければ受診率に加算することが出来ますので、今後はそちらのアピールにも力を入れて行きたいと思います。

委員 例えば、結核の検診は国民の義務になっている(65歳以上)のだから、そういった検診と一緒に受けられるように出来ませんか？そうすれば受診率も上がるのでは？

事務局 他の検診との連携は、現状出来ていないため、今後必要に応じて検討していかなくてはならないですね。

委員 それは逆だと思います。20年前は全て一緒だったのを、メタボリックシンドロームの該当者および予備群を減少させるため、予防を重視した制度が出来てあえて分けた。それを国も戻そうと思っていない。

医療機関に差があって、特定健診を受けさせるところとそうでないところと。それで受診率がけっこう変わってくると思う。市が、受診者が少ない医療機関に言えばいいのでは。データを持っているんだから。ただ、特定健診自体が、医者側としては何のためにやるのか、患者さんの検査結果は把握している訳なので、必要ないと言う内科の先生が多くいらっしゃるのも事実です。

行政としては受診率を上げたい、しかし医療機関としては目的が患者さんの健康状態の把握であるとするなら、出来ているので健診は必要ないという結論になってしまいますね。

事務局 受診している方については、医療機関と保険者でデータの一元化が出来れば、医療機関のデータが保険者でも確認できるのが理想だと思いますので、データで全体を把握するような取組みが国として図られることを期待したいと思います。

委員 例えば、受診歴や服薬歴を把握して、健診が必要な方だけを対象にすれば、もっと数字が上がるのでは？

事務局 受診率のアップで言えばおっしゃる通りですが、特定健診の制度の問題もありますので、現行の制度の中で受診率の向上に努めてまいります。

委員 県平均くらいは行きたいですね。土岐市は、今は上がった方で、数年前までは下から数えて5番目くらいだった時があった。医療機関、行政、何が悪いかわからないが、県平均の42%くらいまでは行けるといいと思います。500円にしてもちょっと上がったくらいで、他の地域で無料にしてもあまり変わらない。安ければ受けるという訳でもなく、意識が変わらないとどうにもならない。いろんな工夫をと言っても、10年くらい毎年同じ話を

している。

ただ、少しずつだけど伸びてきてはいますよね。

委 員 土岐市の診療受診率は分かっているのですか？医療機関にかかっている人が多くて、その内健診は必要ないという考えの方が多ければ、健診を受けようという人は少なくなると思う。診療受診率も大きく影響していると思います。

事 務 局 診療受診率というのは把握出来ておりませんが、受診率アップのために分析は必要だと思いますので、貴重なご意見として他市の状況も含め、今後の分析に活かしたいと思います。

その他

事 務 局 第三期データヘルス計画及び第四期特定健診等実施計画について、1月31日から2月13日まで14日間パブリックコメントを実施いたしまして、広く市民のみなさまの意見を募りましたが、特に意見はございませんでしたので、製本し完成といたします。委員のみなさまには完成品を郵送させていただきますので、ご査収いただきますようお願いいたします。

本計画策定の目的としましては、1番は健康で長生きしていただくことと、次に医療費の適正化です。保険料の上昇が避けられない状況で、被保険者一人一人が日ごろから健康に気を付けていただき、なるべく医療費を抑えていただくことで、少しでも保険料の上昇を抑えたいという予防医療にシフトした計画となっております。

事務局 もう一点、条例の改正についてです。議題とはしておりませんが、土岐市国民健康保険条例の一部改正を行いましたのでご報告いたします。今年度は、国民健康保険法施行令の改正に伴い、子育て世帯の負担軽減、次世代育成支援等の観点から、出産する被保険者に係る産前産後期間相当分（4か月間）の保険料（均等割額、所得割額）を減額するための改正を12月議会で行い、国民健康保険料の賦課限度額・軽減措置の判定所得額の引き上げと退職者医療制度の経過措置終了にかかる改正を3月議会に上程いたします。

～質疑終了～

事務局挨拶 今年度4回目の開催ということで、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。毎回貴重なご意見をいただけて、大変有難く思っています。今、保険者として事業の運営が難しい状況にあるということとはご理解いただけていると思いますが、委員のみなさまのご意見をいただきながら、保険料にしましても、保健事業にいたしましてもより効果的な政策を検討してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

閉会